



2021年度 小山地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2021年11月9日 (火) 18:30~20:00

[場所] 小山市民センター ホール

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
小山連合町内会 副会長 松木 浩

○ 連合会長の挨拶

小山連合町内会 会長 安達 廣美

○ 市長の挨拶

町田市長 石坂 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

- 1 境川の整備と町内の水害対策及び避難所について

【防災安全部】 【下水道部】

- 2 児童、生徒の登下校の交通安全対策について

【道路部】

- 3 多摩境駅前モニュメント周りの清掃について

【道路部】

- 4 スポーツ施設の整備及び公園整備について

【文化スポーツ振興部】 【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

小山連合町内会 会長 安達 廣美

2021年度 小山地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2021年11月9日(火) 18:30～20:00

[場 所] 小山市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

防災安全部長 水越 祐介

文化スポーツ振興部長 篠崎 陽彦

道路部長 神蔵 重徳

都市づくり部都市整備担当部長 平本 一徳

下水道部長 荻原 康義

政策経営部広報担当部長 遠藤 雅子

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

小山連合町内会長 ほか23名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

市民部小山市民センター長

司会進行：市民協働推進担当部長

小山連合町内会副会長

○小山地区連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 境川の整備と町内の水害対策及び避難所について

本件について、小山地区では2015年度より毎年要望を出してきました。昨今、全国で場所を選ばずゲリラ豪雨が発生し各地で甚大な被害が発生しております。境川は豪雨のたびに溢水と支流の逆流で住民は恐怖の中にいます。

同時に、水害の危機が迫った場合直ちに避難する場所の整備も重要ですが、流域での避難所が有りません

確認・要望事項

(1) 境川の洪水対策では上流部の風間遊水池、金森調整池、境川木曾東調整地を計画していますが2021年度の完成予定の風間遊水池の進捗状況は如何でしょうか。

(2) 過去、小山市民センターが避難所として設定されていましたが、近年避難所から外されました。これにより地域の住民の避難所として小山中央小学校が指定されましたが、高齢者等がそこに避難するのが非常に難しく自宅に取り残される状況に有ります。なぜ外されてしまったのでしょうか。再度避難所として指定して頂きたいです。

【回答】

下水道部長

(1) の「風間遊水地」の進捗状況についてお答えします。

神奈川県厚木土木事務所津久井治水センターに確認したところ、予定通り、2022年3月末に完成予定であると聞きました。今年度の工事内容としては、遊水地内の掘削や遊水地を囲う堤防工事などを行っています。

また、東京都が整備を進めている「境川木曾東調節池」および「境川金森調節池」は、予定通りの進捗であると聞いております。「境川木曾東調節池」については、2025年度内に調節池の工事がほぼ完了し、その後、暫定稼働する予定です。また、「境川金森調節池」については、2026年3月末に工事が完了する予定です。

防災安全部長

(2) 風水害時の避難施設につきましては、東京都が2018年度に浸水予想区域図を「想定し得る最大規模の降雨」に見直しを行ったことに伴い、2019年9月に町田市全体として風水害時に開設する避難施設の見直しを行いました。

その際、小山市民センターについては、0.5m以上の浸水が想定されており、避難者の安全を確保できないことから、避難施設の指定を解除いたしました。

一般的に、水深が0.5m以上になると大人でも歩くことが困難であるとされており、町田市では0.5m以上の浸水が想定される施設は避難施設に指定しておりません。

「避難」についてでございますが、これは小山町周辺に限ったことではございませんが、雨などの状況によっては、無理に避難をせず、自宅に留まる方が安全な場合もございます。併せて、お近くの親類や知人宅、あるいは職場などの避難を想定しておくなど、その時々における最善の方法で「難」を避けることができますよう、様々な選択肢について、日頃から、「ご家族同士で」、あるいは「地域の皆様で」お話し合いをしていただきますことも、是非、お願いしたいと思っております。

また、高齢者等の避難が難しい方につきましては、2021年5月に災害対策基本法が改正され、障がい者や高齢者などの災害時に自ら避難することが

困難な避難行動要支援者のための「個別避難計画」の作成が市町村の努力義務となりました。これを受け、今後は、国が実施するモデル事業を参考にしながら国の指針に沿って、2026年度までに地域における「個別避難計画」作成に向けた取組を進めてまいります。

《質疑》

田端町内会

避難ということで、私共の地域は洪水、川の溢水に関して、周辺にお住まいの方は車で避難地に避難したいと思っています。我々の町内会でも前々からそういう意見があります。車で高齢者や家族を大型店舗の駐車場に避難できるような便宜が与えられればいいなという要望が前々からあります。その場合に、例えばコストコといった大型店舗の駐車場や小山ヶ丘小学校に車で避難できないでしょうか。町田市主導で大型店舗の経営者とお話ししていただいて、こういう事態になったら一時駐車場を貸していただきたいというお話しをしていただければと思います。

防災安全部長

車での避難についてですが、水が出てきた時に、道路が30cm以上冠水してしまいますと、車は通常通り進めなくなってしまいます。また、50cmを超える浸水がある場合には、車が浮いてしまったり、ドアが開かなくなってしまうたり、場合によっては車に閉じ込められてしまったりして、非常に危険な場面が想定されます。そのため、道路に水が出ていないということが最低条件になります。車で避難した場合は、申し上げたような危険な場面が想定されますので、市として推奨できるのかなど検討いたします。避難場所として、様々な場所を想定していくことは、可能な限りしていきたいと考えております。

田端町内会

水が溢れてからの話ではなく、水が溢れる前の予備的な避難ということでの車の避難です。町内会館も避難場所になっていますが、そこは駐車ができないので、上の大型店舗の駐車場が借りられれば、事前にそこに避難したいというお話です。

防災安全部長

本日見本をご用意いたしました。東京都が作成している「東京マイタイムライン」という、何か起きた時に自分たちがどのような行動をどのタイミングでしたらいいか事前に想定できる便利なキットがあります。防災課でお渡しすることもできます。もし、早めの避難ということをお考え

をいただけるのであれば、歩いて避難ができるタイミングでどう行動したらいいのか、車を使わないで最も安全な方法で避難するには、どういうタイミングで動いたらいいのかということを、こちらを活用しながら是非お考えいただければと思います。

報道でもありますように、水はいきなり来ます。さっきまで晴れていたところでも急に水が出てくるということもあります。想定が難しいというところもあるので、車での避難はあまり考えないほうがいいと思いますが、今のご意見につきましてもしっかり受け止め検討してまいります。

小山町御嶽堂町内会

先ほどの浸水のお話は、境川が溢れて町田街道が50cmくらいの水位になるということですか。それでここを避難所にできないということですか。

それと、その50cmの水位というのは、時間雨量何mmで想定しているのか知りたいです。境川は30mm降ると溢れます。それ以上の雨が降るという想定なのでしょうか。

防災安全部長

先ほど、東京都が浸水想定域図を見直したというお話をいたしました。最大時間雨量で170mmを想定した計算に改めています。それ以前が114mmを想定しておりまして、これは平成12年の東海豪雨の時の降雨量を基に算出しております。170mmというのが想定しうる最大規模の雨量ということで算出しています。そこから、小山市民センターの入り口付近までが50cm程度の浸水が最大想定される結果になっています。

小山町御嶽堂町内会

避難する方は西の方から歩いてきます。100mm以下でしたら、ここを避難所にしてもいいという想定はできないのですか。あくまでも170mmで想定していますが、170mm降らなくても、ここは避難所にはならないのですよね。50mmでも避難所にならないのですよね。避難所にすることはできないのですか。

防災安全部長

私共で考えているのは、先ほどの想定による浸水区域を基に試算しております。その中で条件を3つ作っています。建物自体に50cm以上の浸水がないかどうか。あるいは避難場所に至るまでの道筋にそういった場所がないかどうか。最後には敷地全体としてそういう浸水が予定される区域がないかどうか。その全部がクリアできた時に避難場所として指定しています。これは、町田市だけの基準ではなくて、南多摩5市についてはいずれも同じような考

え方で避難所の指定をしておりますので、50cmを超える浸水区域や想定される場所につきましては、避難場所とはしていないというのが現実でございます。規模とすると相当大きなものですが、それに至るまでもおそらく溢水はしている状態になっていて、いつどういう状況で危険な状態になるのかが想定しにくいので、あらかじめ避難所として想定していただくのは危険かと思えます。先ほどのご質問にも関連しますが、マイタイムライン等活用して、事前にどういうタイミングで動けばいいか、どこまで行くためにはどういうタイミングで行動したらいいか、是非日頃からご検討いただきたいと思います。

小山町御嶽堂町内会

年配の方はいくら説明しても安全だからときっとここに逃げてくると思えます。その辺も何らか考えていただけないかと思って発言しました。

(司会) アパガーデンパレス多摩境自治会

今のご回答で少しわからないところがあります。垂直避難しなさいということですが、市民センターは垂直避難してはいけないのですか。2階にこれだけ空いている大きなスペースがあります。私たちは、ここを活用しないというのは考えられません。確かに最悪の場合に50mmということですが、その時に避難してはいけない理由として、途中の経路が危険であるということとはよくわかります。ただ、来る以上は避難者を受け入れて、その人たちは2階でも上がって避難していただく、そういう場を提供することが大事だと思います。もう決まっていますと言われても、いざという時に決まっていることをどこまで守れるか、非常に問題があると私は危惧していますので、是非もう一度、現実を見て考えていただければと思います。

もう一つ、最初の洪水対策はいろいろやっていただいて、進捗は予定どおり進んでいるというのは非常にありがたいことです。これが先ほどの雨量としては何mmぐらいの想定の場合には下に影響が出ないのか、それ以上になった場合には影響が出るのか、そのレベルはどの程度でしょうか。

下水道部長

境川の整備は一体どこを目指しているのかというご質問でしょうか。境川は、時間30mm程度の流下能力がある川ということが神奈川県の見解です。神奈川県は最近の気象状況の変化も観て、時間60mmを目指して整備をしようと考えてきています。今までは時間50mmを目指して河川整備を進めてきたところですが、河川や、遊水地といった池など周りの貯めるところも全部含めて、時間60mmを目指して整備を進めています。整備を進めていますが、境川は距離が長いです。この長い整備をずっとやることももちろん必要だと思いますが、貯める池を整備する方が時間的には早いと思います。

神奈川県は河川整備と貯める池の整備両方併せて進めているというところ
です。

(司会) アパガーデンパレス多摩境自治会

そうしますと、大体50mm前後までは何とか、今までよりはずっとよくな
りますと理解してよろしいということでしょうか。河川に近い人はいつもひ
やひやしてお過ごしだと思いますので、効果が上がっているというのは非常
に貴重な話だと思います。

下水道部長

効果は必ずあると思いますが、それがどこまでどういう効果があるのかは、
私共も知りえないところがあります。雨の降り方も最近ずいぶん変わってき
ていまして、少ない雨が全域に降るということは誰も心配しませんが、極地
的に非常に強い降雨が続くというところで、どこにどういう雨が降った時に、
どういう安全性が確保できるかということは非常に難しくなってきました。
ただ、上流に貯めるところが整備されることは非常に有望でもありますし、
下流にも東京都が2か所整備を進めていますので、必ずそれは効果が出てく
ると思います。

地区連合会長

今の件に関しましては、町田市側の考えというか、当然整備するセンター
の方と話し合っているものだと思います。今回、津久井治水センターの所長
から地元の意見交換会を是非やってほしいというような提案がございました。
これに関しましては、2、3日前にそういうような話になりましたので、
管理されているのは神奈川県、厚木土木事務所ですが、開催する日時等が決
まりましたら皆さんに情報を流します。神奈川県としてはどういう考えをお
持ちなのか、その辺も踏まえて、改めてまたこの議題を取り上げていただけ
らいいなと考えております。

この問題に関しましては、小山地区だけじゃなくて、町田市全体の市連の
市政懇談会にも境川に関しては議題を出しております。本当に大きな議題の
一つだと思います。今回進展したのは津久井治水センターでそのような提案
をしてくれたということだと思いますので、早急にやるようにしたいと思います。
その場でもう一度皆さんの率直な意見をいただければと思っております。

2 児童、生徒の登下校の交通安全対策について

小山・小山ヶ丘地域の人口が増えていますが、それに伴い町田街道と多摩

境通りの南北間の車の往来が多くなってきています。多摩境通りには、小山ヶ丘・小山中央小学校や小山中学校が有りますが、そこに通う児童・生徒が登下校する際、恐怖を抱きながら狭い道を利用せざるを得ない状況に有ります。また、小山・小山ヶ丘地区の東側の下馬場から西側の田端までの町田街道に接続する全ての中道が狭い中、町田街道の抜け道にする車が多い状況にあります。何年か前には、登下校時ではないですが、児童の死亡事故も起きてしまっています。千葉の事故のように、重大な事故の可能性を懸念しています。

確認・要望事項

(1) 児童、生徒の登下校時の安全確保に向け、しまむら近くや小山小学校前といった幹線道路への接続道の歩道の色を変えるかスクールゾーン・登下校時の車の通行規制標識の設置をするなどの対策をお願い致します。

(2) 児童の登下校時に南大沢警察署が行っている車の監視活動の強化をお願い致します。

【回答】

道路部長

議題2の「児童、生徒の登下校の交通安全対策について」お答えいたします。

(1) 町田街道と多摩境通りの南北間の車が往来する狭い道路における、児童、生徒の登下校時の安全確保に向けた、交通安全対策についてお答えいたします。

ご要望の道路にグリーン舗装をするには、外側線の設置が必要となります。外側線を設置するには、原則として路側帯1mと車道4mが必要となり、当該路線の道路幅員は、5.0～5.5mと狭いため、両側に路側帯を設置することは難しい状況です。また、設置にあたっては、沿道にお住まいの方々の了承が必要となります。

次に、スクールゾーン・登下校時の車の通行規制標識の設置につきましては、南大沢警察署に確認したところ、「①要望道路の沿道住民の承諾、②迂回路の選定、③選定した迂回路に該当する自治会の承諾」の三項目を自治会でまとめていただく必要があるとのことでした。地域の合意形成を図った上で、南大沢警察署までご相談いただきたいと思います。

町田市では、通学路の安全対策の取り組みといたしまして、教育委員会、学校関係者、警察、道路管理者で、合同による通学路点検を実施しております。当該路線においても、今年7月に通学路点検を実施し、小山小学校からの要望を受け、「対向車注意」の注意喚起の看板を設置し、安全対策を行っております。今後も児童が安全・安心に通学できるように努めて参ります。

(2) 児童の登下校時の車の監視活動については、現在小山駐在所の警察官が実施しております。今後も継続していただくよう、町田市から南大沢警察署にお願いして参ります。

《質疑》

中村町内会

しまむらから中学校に行く道路は確かに狭いのですが、中学校の通学路になっています。小学生も上から降りてきます。実際に見てみると、中学生が狭い道路の両側を歩いています。どちらかに1本線を入れてくれると、左側を歩くとか、右側を歩くということができると思います。

住民の要望としては事故がないことが一番です。千葉みたいな事故が起きた時に大変な思いをするのは住民ですから、至急、片側だけでもラインを引いていただいて、そこが歩道だよというのがわかるようにしてほしいです。できればラインの上を緑色にしてくれれば、余計わかりやすいし、そこには車が入らず気を付けるということになります。実際に見守っていて、本当に子どもと車がすれすれの状態で、接触事故が起きる可能性が高く危ないので、何らかの対応はとっていただきたいです。看板を立てるだけとかだと、もし何かあった時に、行政は何をやっていたのだとなると思うので、狭いので線1本引くのも大変だと思いますが、何等かのことをしていただければ地元の住民は安心します。

中学校自体も地域住民から歩き方が悪いとか、両側に広がって歩いているとか苦情が出ていると思います。そういうところも解消されるということで、中学側もほっとすると思うので、是非話を進めてもらいたいです。

道路部長

現状が幅の狭い道路ですので、右側か左側かのどちらかということになると思いますが、路側帯の設置につきましては、先ほども申しましたように沿道の方々のご理解、ご協力が第一条件になります。片側に引くということは、その軒先の方々のご了解を得ないといけないというのが一番です。この区間は右側、この区間は左側という整備はできませんので、地域の方々がまとまって、上から下まで通して全員の方のご了解をいただくことが一番重要になってきます。市も安全な道路にしていきたいと思っております。交通規制につきましても、警察に働きかけることを行っていきたいと思っておりますので、是非ご協力のほどよろしくお願いいたします。

(司会) アパガーデンパレス多摩境自治会

今の話は居住者、町内会の理解が得られれば実行しますよと理解してよろしいですか。

道路部長

町内会というよりは、お住まいの沿道の方々の理解です。

(司会) アパガーデンパレス多摩境自治会

いずれにしても、その理解が得られれば実行します。一緒にやりましょうという提案だということによろしいですか。

道路部長

そうです。今の幅員では両側の整備はできませんが、片側なら実行可能です。ただ、他の地域でも地域の方のご理解を得るのが一番難しい状況で、実施できてない地域も多々あります。是非この地域では皆さまのご理解、協力をいただいて、実施できる場所があれば実施していきたいと思っています。

3 多摩境駅前モニュメント周りの清掃について

確認事項

(1) 本年4月頃から、多摩境駅前モニュメント周りのごみ・たばこの吸い殻等が目立つようになりました。また、このゴミが近くのマンションの植栽部分まで飛んでくるのが有ります。以前、市で定期的に清掃を行って頂いたと記憶していますが、その方針が変わったのかお聞かせください。

【回答】

道路部長

議題3の「多摩境駅前モニュメント周りの清掃について」お答えします。

多摩境駅前モニュメント周りの清掃については、2021年4月からこれまで行っていた週3回の定期清掃を廃止しました。これは、財政的な理由から市内全ての駅周辺で行ったものです。

他の駅周辺では行っておりませんが、この廃止に伴い多摩境駅では市職員による清掃を2週間に1回程度、不定期で行っていました。

また、ゴミを捨てづらい環境をつくるための美化活動として、6月から7月にかけてモニュメント周りの柱の塗装、壁の落書き落とし、インターロッキングブロックの表面研磨を行いました。また、7月から10月にかけては、草取りとインターロッキングブロックの目地補修を複数回行いました。

さらに監視の面では、9月6日から13日と10月11日から15日の期間で市職員による夜間パトロールを行いました。また、10月15日には南大沢警察署、防犯協会と町田市による合同パトロールを行いました。しかし、一時的に良くなりますが不法投棄が無くならなのが現状でございます。

そのため、10月からは、週2回の定期清掃を行い、駅周辺の環境美化に

努めております。

この問題の解決には、地域と共に協力して取り組んでいかなければならないと考えています。これまでコロナ禍で地域との取り組みは行っていませんでしたが、コロナ禍が終息しましたら地域の皆様と清掃活動やパトロール活動を行って参りたいと思います。

《質疑》

なし

4 スポーツ施設の整備及び公園整備について

昨年の市政懇談会で下記の要望を出しましたが、その後の進捗をお聞かせください。

要望事項

(1) 小山・小山ヶ丘地区（例：上沼公園・多摩境駅周辺）に中学生から大人迄も楽しめるバスケットゴールやテニスの壁打ちなどのスポーツ施設の整備について。

(2) 三ツ目山公園日除け設置要望に関する、担当部署への確認状況について。日頃多くの人達が利用していますが、特に近年の暑さは厳しいものがあることから、日を避ける場所が無く夏場の熱中症が非常に心配な状況です。

【回答】

文化スポーツ振興部長

(1) 小山・小山ヶ丘地区における、スポーツ施設の整備につきまして、2020年度の市政懇談会でご説明した以降の進捗状況をご説明いたします。2019年度に実施した小山上沼公園内の、基本・実施設計をもとに、地域の皆様から寄せられたご意見等を踏まえ、整備に向けた準備を進めております。

整備内容といたしましては、夜間照明設備のある多目的グラウンドの整備のほか、バスケットゴールの設置、テニスの壁打ちができる設備などを見込んでおります。

現時点におきましては、整備スケジュールなどは未定となっておりますが、詳細が分かり次第、地域の皆様と情報共有を行いながら、早期に整備を進めてまいります。

都市づくり部都市整備担当部長

(2) 三ツ目山公園の中央部分の窪地は、調整池の役割を果たしております。また、今年8月の大雨の際には、二次調整池部分も短時間でかなり水位

が上がりました。そのような場所に、屋根のある日除けなどがあると、雨宿りに来た方や休憩をしている方などが、急激な水位上昇により、水難事故にあう可能性があるため、日除けの設置は難しいと考えております。そのため、熱中症対策としましては、日の当たる場所を避け、公園内の樹木の木陰等をご利用して休憩していただきますようお願い申し上げます。今後、日の当たらない場所で休憩していただけるよう、木陰にベンチを設置することなどを検討してまいります。

《質疑》

片所町内会

(1)の方ですが、今コロナ禍ということで、予定が未定となっていることは重々理解しております。住民の方の理解が得られていると聞いておりますので、話がなくならないように押し進めていただければなと希望しております。コロナで最近は行けていないですけれども、子どもたちはみんな相模原の施設に遊びに行っています。町田市にできたらすごくありがたいなと思いますのでよろしくお願いします。

文化スポーツ振興部長

地域の皆さまの声もしっかりと受け止めております。ただ、いつということとは申し上げられませんが、できるだけ早期に整備ができるよう、準備してまいります。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

皆様に今日は「2021年度 市政懇談会 市政報告概要」という資料をお配りしています。

この紙を中心にお話をいたしますが、その前に、先ほどお話がありましたことで、周りで聞いていた情報だけ、特に防災の関係ですけど、他の町村の場合は、学校に避難します。その時、車で避難しています。校庭に車を並べてしまいます。特にそれでもめてはいませんが、都市部ですと校庭にそんな容量がないので、車での避難がなかなか難しいということがございます。また、避難が長引いた場合のエコノミー症候群など、病気になるケースが結構ありますので、人口が多いところではなかなか車での避難は採用できないという状況です。他の少し人口が少ないところと、人口が多いところでは扱いが違うのかなと思いますが、他の町村で校庭に避難しているケースがあります。

それから、避難施設で大事なものは、食料、水の備蓄です。避難施設イコー

ル備蓄があるということです。例えば冬場寒ければ、毛布がないとどうにもならないですから、そういうものが常に置いてあるということが大事です。避難施設となれば、水も食料も毛布もいろんなものを用意してあるということになりますので、ある施設を臨機応変に避難施設にしたり、しなかったりはできません。

それともう一つは、避難所に水が出てしまい、二次災害、二次被害が起きてしまうことを回避するために、ここで言えば小山市民センターは指定していません。先ほど、想定の一時的雨量の話がありました。津久井では時間降雨量60mm、片や先ほどの話で都は170mmとしています。その間に相当差があります。その60mmの方を80mmや90mmとすればいいじゃないかという議論になりますが、この60mmというのは非常に高いレベルです。今や河川の常識的に下から流量を増やしていきます。1時間当たり何mm、何tを流すという設計をするわけです。今、整備が引っかかっているのは、相鉄の橋脚のところですか。横浜から来て湘南台に抜けるところがありますが、その橋脚のところですか。なかなか難工事になっています。つまり、その川幅を広げて、深さをとらないといけません。そこが終わらない限り、上の工事はできません。つまり藤沢より北とか上流の工事はできないので、戸塚との間で遊水地を最近2年ほど前に完成させました。完成させましたが、実は本格的な60mm対応ができる間のつなぎという役割を持っています。今整備をしている金森も60mm対応ができるまで、洪水になってしまっただけでは困るので、先に整備しているというのが実際の遊水地の機能でございますので、その点のご理解をいただきたいと思います。

先ほど連合会長からお話がありましてとおおり、津久井治水センターの方からお話がありました。今までは皆さんからご意見をいただいて、市が神奈川県にお願いしていたので、直接津久井治水センターと話をされるというのは、非常に良い機会だと思います。実情をとにかく訴えていただくのが一番かと思えます。

市政報告の話です。一番皆さんの関心がありましたのは、新型コロナウイルスについてです。最近感染者が落ち着いてきておりますが、今日は30人で、先週よりは若干増えたと聞いております。3000人台、4000人台という時期がありましたので、非常に落ち着いている状況であります。

特別定額給付金、昨年4月、5月に行いました、1人10万円の給付金です。町田市内約432億円の金額でした。

子育て世帯に対する1万円の給付金の支給です。それが約4億9千万円です。

3番目がお店の家賃支払いの補助です。中小企業者家賃補助事業で4回行いました。1回目は利子補助と合わせて約10億6千万円。2回目は約5億2千万円。3回目は約4億円。更に約3億円と4回補助事業をしています。

3回目、4回目は今年度に入ってから行いました。

4番目は、医療機関特別給付金事業です。これは去年の段階で、新型コロナウイルスにかかった方で中等症から重症者の患者を引き受けた病院に補助金を出しています。市民病院以外の4つ市内の病院です。市民病院は市からまた別会計から市民病院会計の方にお金を出していますので、それ以外で2億円を出しました。

地域外来のPCR検査センターを都内で8番目、多摩地域26市の中では1番目に、今年の4月にオープンしました。

それから、一人親家庭臨時特別給付金も行いました。

7番目は、去年の暮から今年にかけてキャッシュレス決済、Pay Payと連携してプレミアムポイント事業を行いました。23億円分のプレミアムポイントを市が負担して行いました。2回目を今年の6月に行いました。

8番目は、飲食店のデリバリー支援事業です。これは、出前館に頼んだ時の配達料とお店側の出前料をそれぞれ市が負担しました。また、デリバリー・テイクアウトを実施する飲食店への給付金事業を行い、合わせて約2億円でした。

介護サービス事業所支援、障がい福祉サービス事業所支援も去年行っています。

最後に、ワクチンの接種事業です。12歳未満はやっていませんが、12歳以上の対象者に対して、現在79.6%、約8割は既に2回目の接種が終わっています。高齢者の場合は92%が終わっています。ほとんどの人は終わっています。残っているのは、20代、30代の人はまだ6割ですから、その人たちがどこまでいくかわかりませんが、7割ぐらいはいくと思います。11月中には大体ここで言う80%か85%ぐらいまでいくのかなと思っています。

来月から、3回目の接種が始まります。来月から医療従事者の接種が始まります。年が明けて、2月から、今度は高齢者が最初になりますが、3回目の接種を行うということで、既に専決処分予算を確保いたしました。それから12月の議会にも3回目の接種の関連の予算を今回提案しようと準備をしております。3回目の方は、ご案内のとおり2回目が終わってから、8ヶ月を超えてということになっています。今までのように一斉に申し込みするとか、そういったことは考えられないです。6月に接種した人は8ヶ月後、つまり2月。7月に接種した人、8月に接種した人は来年の4月以降と順番でいきますので、混乱をするとか、競争するとか、電話がつながらない、インターネットがつながらない、ということは、今回はないと思います。

まちだ〇ごと大作戦です。今日、本部会議を終えましたので、12月のイベントで終わりです。相原駅の駅で、駅ピアノというのを〇ごと大作戦でやると、それが4年間の最後の〇ごと大作戦でございます。2018年にやっ

た時も確か相原の竹あかりが第一個目のイベントで、4年間の最後、偶然ですが、相原の駅ピアノで終わるということになりました。約300の事業のエントリーをいただきました。参加した人数は、Web上を含めて200万人です。目標は100万人でしたが、実際は200万人となりました。たくさんの方に参加していただきました。

それから、多摩都市モノレールの方はまだまだこれからの話です。

東京2020オリンピック・パラリンピックですが、7月の24日25日に自転車のロードレースが開催されました。小山、小山ヶ丘地域の皆さんに大変ご協力をいただいて、本当に盛り上がりました。沿道警備を含めて皆さまには大変ご協力をいただきました。改めて御礼を申し上げます。

施設の話ですが、去年の4月に薬師池公園西園にウェルカムゲートができました。非常に評判が良く、多くのお客さんが来ています。コロナということがあって、近くの公園の広々としたところに来る人がたくさんいまして、西園にも駐車場もあるので、たくさんの方が見えました。

野津田公園の町田GIONスタジアムは、5月に観客席を10,000席から15,000席に増設工事をしました。今は観客の制限が2分の1までになりましたので、7,500人上限でお客さんが入っております。

鶴川駅ですが、北口の駅広場の工事が始まりました。それから、南口、つまり川崎側も区画整理事業が始まりましたので、少し便利になるかと思いません。

南町田グランベリーパークはご案内のとおり、一昨年11月にスタートして2年たちました。

熱回収施設は、来年の1月に稼働です。もう既に新しい工場でごみを燃やしています。生ごみを発酵させてガスを出す。そのガスで発電するバイオガス化の施設もごみが搬入されています。首都圏で初めての施設なので、視察が多く来ると思います。温浴施設もできあがっていて、来年の4月にオープンします。ビンカンペットボトルの施設も2025年度完成予定です。相原地区の大戸小学校と武蔵岡中学校の東側に計画しています。プラスチックについては、小川で稼働しているので2箇所目になります。

子育て、保育等でございますが、保育所の待機児童は130人が76人になります。今、非常に多いのは南地区です。今も保育所を整備しています。

町田第一中学校は8月の末、二学期から新校舎で授業を行っています。校庭は整備中のため、体育の授業は依然として本町田の後田グラウンドを使って行っています。

小・中学校の体育館は、去年度と今年度で、全62校、小学校42校と中学校20校で体育館の空調設置工事を行っています。あと、何校か残っていますが、今年度中に全校終わります。下の方は暖かく、上の方は冷えたままという暖房ができるそうです。人間の高さのところだけを暖める輻射方式です。

冬場になったら学校に行ってみてください。体育館への空調設置によって、子どもたちが体育の授業中に熱中症で倒れることもなくなります。先ほど話しました避難施設として体育館を使っています。避難施設で暑くて、また寒くて病気になってしまうことが避けられます。避難施設としてはあまり使いたくないですが、真夏、真冬も空調が機能するということになります。

中学校の全員給食というのを計画しております。これも2025年度開始ということで事業計画を作っております。成瀬の下水処理場の隣、鶴川方面は金井グラウンド、それと山崎団地の中の廃校、旧忠生第六小跡地の市内3か所に給食センターを作る計画になっています。堺中学校は、武蔵岡中学校、大戸小学校の設備を使って運ぶということになると思います。

今後の小・中学校再編として、町田市新たな学校づくり推進計画を今年5月に策定し発表しました。学校統合や建替えなどの計画を策定しています。2040年までの20年計画です。

薬師池公園の四季彩の杜の昨年度の来園者は、約115万人です。1年に100万人来るといふ公園ですから、相当な人気の公園だと思います。

それから、最後に高齢者の特別養護老人ホームです。この辺りだと美郷、花美郷が一番近いですが、申し込みから1年未満に入所できた人の割合が、2009年度約45%だったものが今は85から90%です。申し込みから1年で入所できるという時代になりました。原則要介護3以上の方が対象です。

《質疑》

片所町内会

私が気になっているのはリニアについてです。先日も調布で問題がありました。相模原の16号でも問題があったと聞いたものですから、町田市として何か危機管理的なことで動かれている部署があるのでしょうか。もしなかったら、今後どのように考えているか、市長にお伺いしたいと思います。

市長

リニアの件は細かい工事の中身は承知しておりませんが、政策経営部企画政策課が担当しています。1年に1回くらい、JRと安全管理について打合せをしております。小山地区でも実際に工事を行っています。小野路でも行っています。それから、隣の川崎の隣接のところでも、それぞれ全部立て坑を作っていますので、その調整を政策経営部が行っています。この間の調布の事故がありましたので、これも政策経営部からJRに同じような事故が起こらないかということヒアリングしているところでもあります。

沼町内会

防災についてですが、数週間前に、夕方突然電気が落ちました。15分くらい停電がありました。あとで調べましたら、町田市、相模原市、そのエリアで、30,000軒強の世帯の電気が落ちました。地震もなかったですし、台風で何かあったということもなく、平常な時に突然落ちました。たまたま電気が落ちることはありますが、30秒かそのくらいで復帰しています。今回は最初5分くらい止まっていました。全然復旧されなくて、何でこんな長く停電になっているのか市役所に電話入れたら、非常に混み合っていてなかなかつながりませんでした。結局10分弱経って、やっと電話がつながりました。そうしたら、市役所でも原因がわからないので、復旧するまで待っていただくということでした。いろいろ話をしていたら、突然電気が復旧しました。

いざ災害時の時はスピーカーで地域に放送されていますよね。防災行政無線は、電源がダウンした時に稼働するのですか。

防災安全部長

稼働しますので、ご安心ください。

沼町内会

地域で電気が落ちても、防災安全無線でお知らせいただけるということですよ。

さっきの話でも、数秒、10秒とかで復帰すればいいのですが、10分強停電が続いたという場合、防災無線で、「今確認しております」とか、「もう少しお待ちください」とか、一言だけでも放送していただきたいです。

防災安全部長

ただ今のお話ですが、停電等発生いたしますと、私どもも直ちに状況の確認に動きます。東電の方から連絡をいただける場合もありますし、東電も対応をしている状況と思いますので、我々から状況をお聞きするのですが、なかなかすぐにわからないこともあるので、場合によっては少しご不安な時間をお過ごしいただくことになってしまいます。情報収集についてはなるべく早くするよう努めていきます。

防災無線を使ってのお知らせでございますけれども、先ほどお話がありましたとおり、非常時にも活用できるということでございます。ただ、防災行政無線の活用には細かいルールがございますので、なんでも流せるということではありません。流すことでのいろんな弊害もあります。いろんなことを防災無線でお伝えすることも必要ですが、音がうるさいなどご意見をいただくこともあります。ただ、情報についてはきちんとお伝えできるようにしてま

います。

○閉会の挨拶

小山連合町内会会長